記 者 発 表 資 料

平成３０年　９月１８日
湯沢河川国道事務所
秋田河川国道事務所
玉川ダム管理所
成瀬ダム工事事務所

雄物川の渇水　関係機関との連絡調整で乗り切る

～玉川ダムからの連携用水補給で影響を回避～
～もしも、成瀬ダムがあれば十分な水量を確保できたと推測～

雄物川水系では、７月中旬以降、３年ぶりの渇水となり、例年に比べて気温が高く、降雨が少なかったため、基準流量(※1)を割り込みました。
この状態は、８月上旬まで続き、特に玉川合流点から上流部の雄勝、平鹿地区では渇水傾向となり、土地改良区では各農家に節水の呼びかけを行い、番水制等の対策がとられました。
玉川ダムを主とした玉川水系ダム群(※2)では、用水確保及び椿川地点での流水の正常な機能の維持のための補給を行い、効果を発揮しました。
今回の渇水で、もしも成瀬ダムが完成していれば、安定的な水の供給がなされ、十分な取水、良好な河川環境の保全が図られたものと推測されます。

（※１）基準流量　…　椿川地点：正常流量　８０㎥/s
岩館地点：過去5ヵ年平均渇水流量　２．９１㎥/s
刈和野橋地点：過去5ヵ年平均渇水流量　９０．２８㎥/s
長野地点：過去5ヵ年平均渇水流量　２５．４７㎥/s
岩崎橋地点：過去5ヵ年平均渇水流量　２．１０㎥/s
（※２）玉川ダムを主とした玉川水系ダム群　…　玉川ダム、鎧畑ダム、田沢湖、夏瀬ダム、神代ダム

発表記者会：秋田県政記者会、横手記者会、秋田魁新報社湯沢支局・大曲支局

問　い　合　わ　せ　先

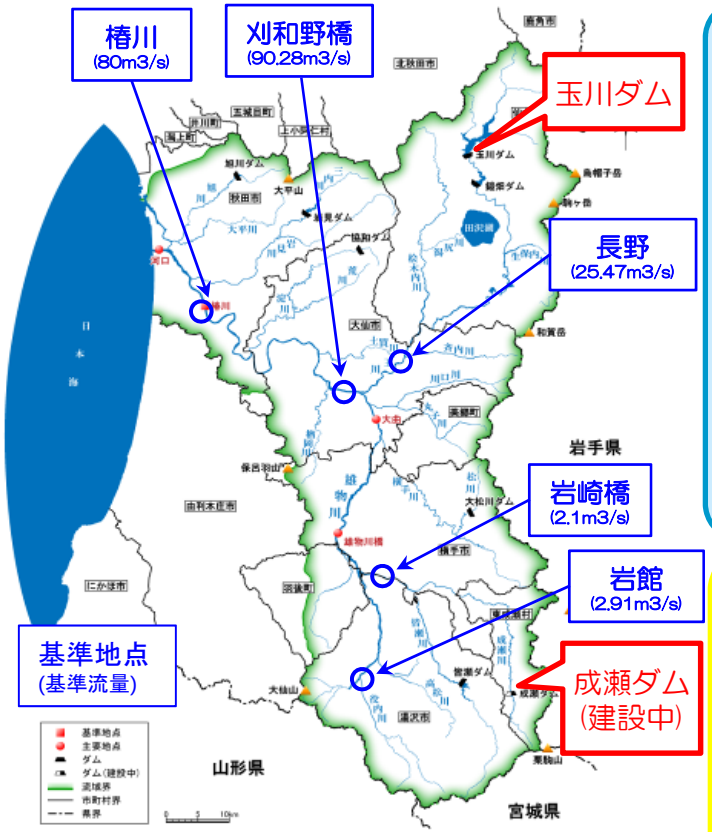
雄物川上流部に関する事項
東北地方整備局　湯沢河川国道事務所
秋田県湯沢市関口字上寺沢６４－２
ＴＥＬ　０１８３－７３－３１７４（代表）
副所長（河川担当）　齋藤（さいとう）　茂則（しげのり）（内線２０４）
河川管理課長　黒沼（くろぬま）　俊一（しゅんいち）（内線３３１）

雄物川下流部に関する事項
東北地方整備局　秋田河川国道事務所
秋田市山王一丁目１０－２９
ＴＥＬ　０１８－８２３－４１６７（代表）
副所長（河川担当）　齊藤（さいとう）　正道（まさみち）（内線２０４）
河川管理課長　三瓶（さんぺい）　幸雄（ゆきお）（内線３３１）

玉川ダムに関する事項
東北地方整備局　玉川ダム管理所
仙北市田沢湖玉川字下水無９２
ＴＥＬ　０１８７－４９－２１７０（代表）
管理所長　泉谷（いずみや）　敏広（としひろ）（内線２０１）
管理係長　菊池（きくち）　豪紀（ひでとし）（内線３３２）

成瀬ダムに関する事項
東北地方整備局　成瀬ダム工事事務所
雄勝郡東成瀬村田子内字宮田９７－１
ＴＥＬ　０１８２－２３－８４５０（代表）
副所長（技術担当）　田川（たがわ）　和義（かずよし）（内線２０４）
調査設計課長　佐藤（さとう）　隆夫（たかお）（内線３５１）

平成30年　雄物川水系渇水　概要（速報版）　H30.9.18



◉今年は積雪が多かったが、雪解けが早く融雪が早まった。
◉7月中旬以降、出穂期を迎える時期に気温が高く、雨が少なかったことから、河川流量が減少し、基準流量を割り込みました。（基準流量：椿川は正常流量、4箇所は過去5ヶ年平均渇水流量）
◉玉川合流点より上流部の雄物川（雄勝及び平鹿地区）では、8月上旬まで渇水傾向が続きました。
◉玉川ダムを主とした玉川水系ダム群では、用水の確保及び椿川地点での流水の正常な機能維持のための補給を行い、効果をあげました。
（玉川ダムを主とした玉川水系ダム群：玉川ダム、鎧畑ダム、田沢湖、夏瀬ダム、神代ダム）

【渇水への対応・河川の状況確認】
◆かんがい用の取水では、許可取水量に対して上流部では約３割程度にとどまる箇所もあり、横手市平鹿地区では7月23日から8月12日まで21日間の番水制を実施。（計5地区で番水制を実施）
◆各土地改良区では、各農家に対し節水を呼びかけを実施。
◆上水道では、節水の広報の実施や給水車の準備した箇所あり。
◆河川状況は、毎日の巡視により確認し、瀬切れ、魚類のへい死などの異常は確認されませんでした。また、水質簡易検査を実施。

【渇水対応　会議開催・体制設置の状況】

年月日	会　議　・　体　制
平成30年6月29日	第1回雄物川水系渇水情報連絡会開催（定例会）
平成30年8月3日	第2回雄物川水系渇水情報連絡会開催（臨時）
平成30年8月8日	雄物川水系渇水対策支部（注意体制）設置（13時）
平成30年8月8日	玉川水系ダム群及び田沢湖の運用管理ルール（案）の「レベル1」への移行
平成30年8月20日	玉川水系ダム群水位運用連絡調整会議（第1回）（臨時）
平成30年8月23日	第3回雄物川水系渇水情報連絡会開催（臨時）予定（台風接近による延期）
平成30年9月6日	雄物川水系渇水対策支部（注意体制）解除（11時）（30日間）

※渇水情報連絡会：利水者及び河川管理者による情報交換や渇水調整を行う会議
※玉川水系ダム群水位運用連絡調整会議：玉川ダム、田沢湖の水利用に関する関係機関で調整を行う会議

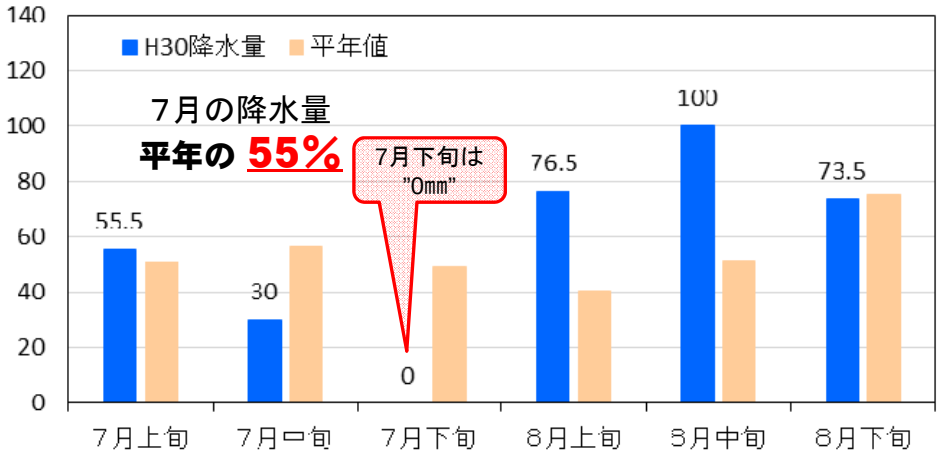


渇水情報連絡会の様子

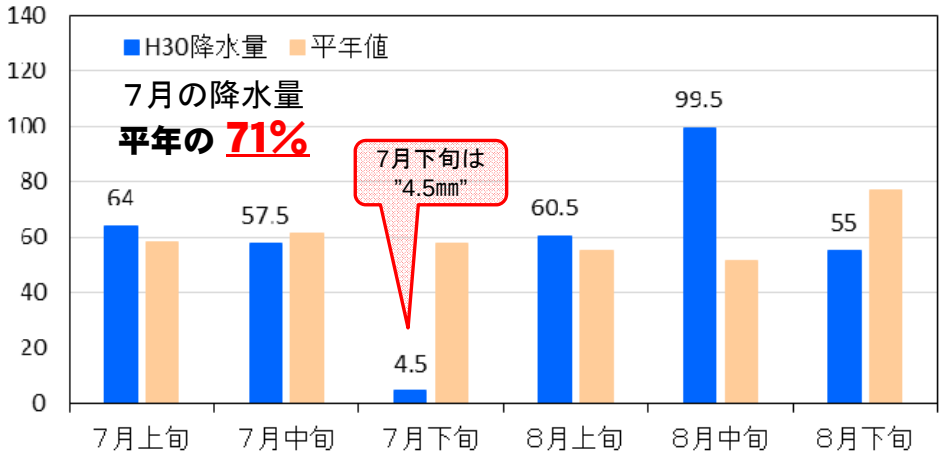
H30雄物川水系渇水　降水の状況

・東北北部は、６月１１日頃に梅雨入り、７月１９日頃に梅雨明けをしました。
（平年は、梅雨入り６月１４日、梅雨明け７月２８日）
・秋田県は、梅雨入り後から７月中旬にかけて前線や低気圧により降水量も多かったが、７月下旬は高気圧に覆われ、気温も高く、湯沢では７月１４日から８月４日まで降雨がなく、横手では７月下旬の降雨量が平年の８％でした。

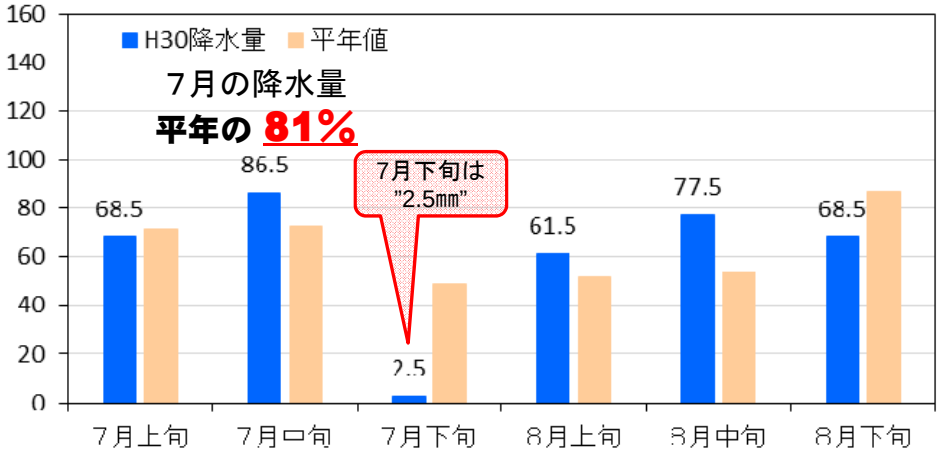
湯沢の降水量



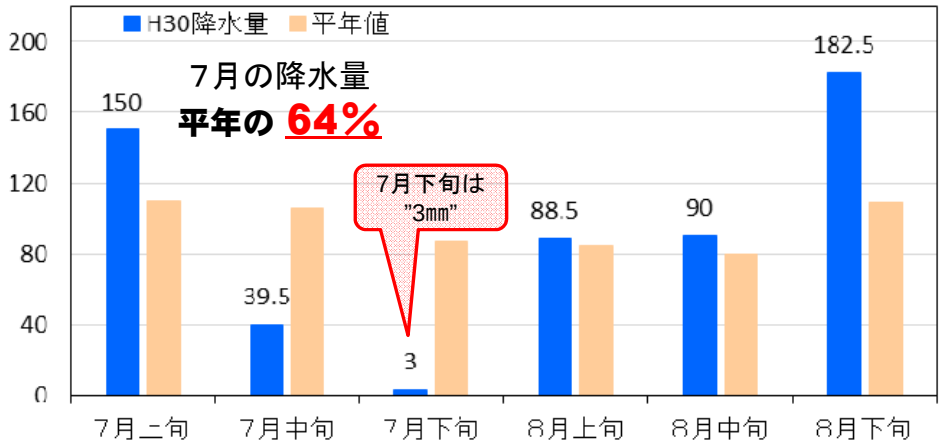
横手の降水量



大曲の降水量



桧木内の降水量

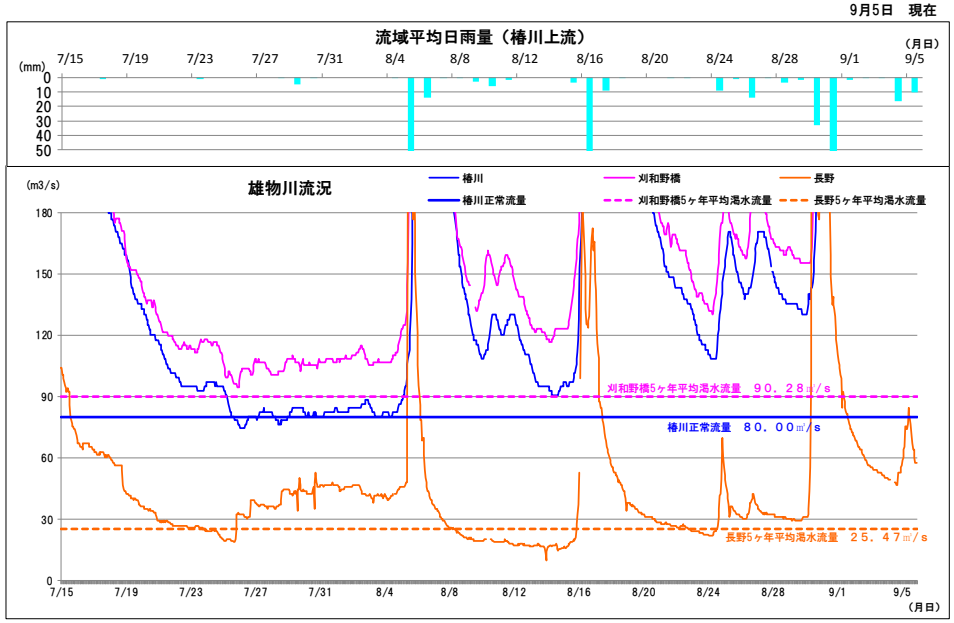


出典：気象庁の観測データより集計

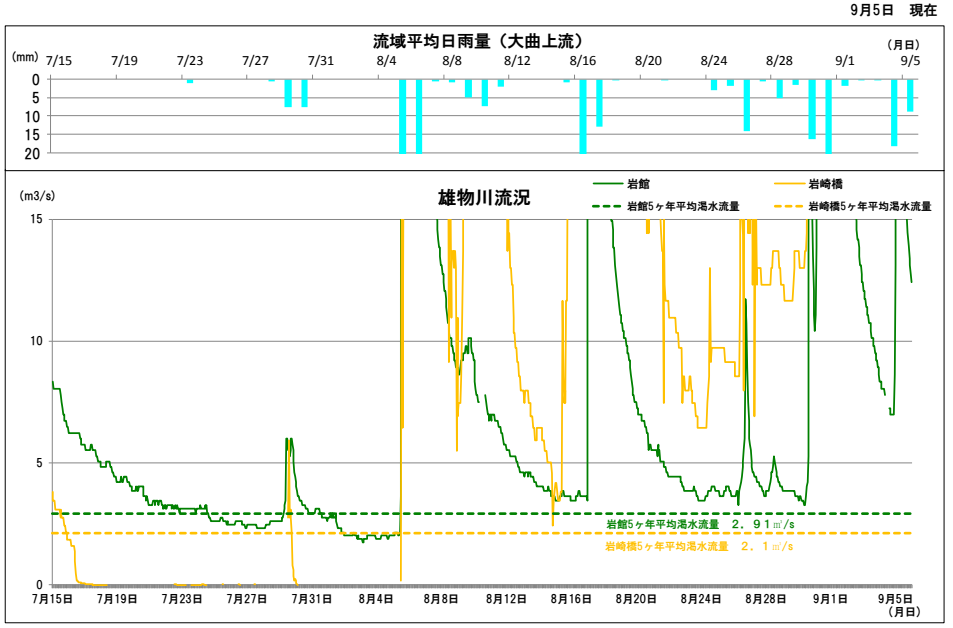
H30雄物川水系渇水　河川の流況

・雄物川上流の岩館地点（湯沢市）や皆瀬川の岩崎橋地点（横手市）の流況は、７月中旬から８月上旬まで基準流量を下回りました。また、玉川の長野地点でも、断続的に基準流量を下回りました。
・椿川地点では、基準流量（正常流量）が概ね確保されており、玉川ダムを主とした玉川水系ダム群からの利水補給が流況の安定に寄与しています。（正常流量：流水の清潔の保持、魚類が生息するために必要な水深を確保する流量）

平成３０年　雄物川（中下流）流況　（７月１５日～９月５日）

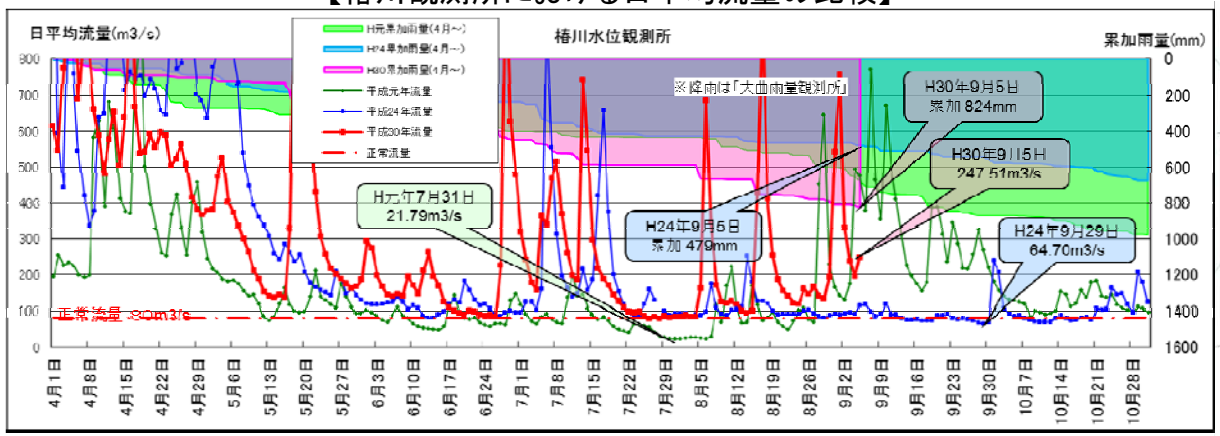


平成３０年　雄物川（中上流）流況　（７月１５日～９月５日）



【椿川観測所における日平均流量の比較】

※流量は暫定値であり、確定値ではありません。





正常流量を下回った日数	
H元年（4/1～10/31）	56日
H24年（4/1～10/31）	26日
H27（4/1～8/31）	10日
H30（4/1～9/5）	2日

H30雄物川水系渇水　河川の状況

《渇水状況》（河川巡視時撮影）

・河川は平常時と比較して、川幅も狭く、水深も浅くなっていました。
・毎日の巡視による、瀬切れ、魚類のへい死などの異常は確認されませんでした。

岩崎橋地点付近





岩館地点付近



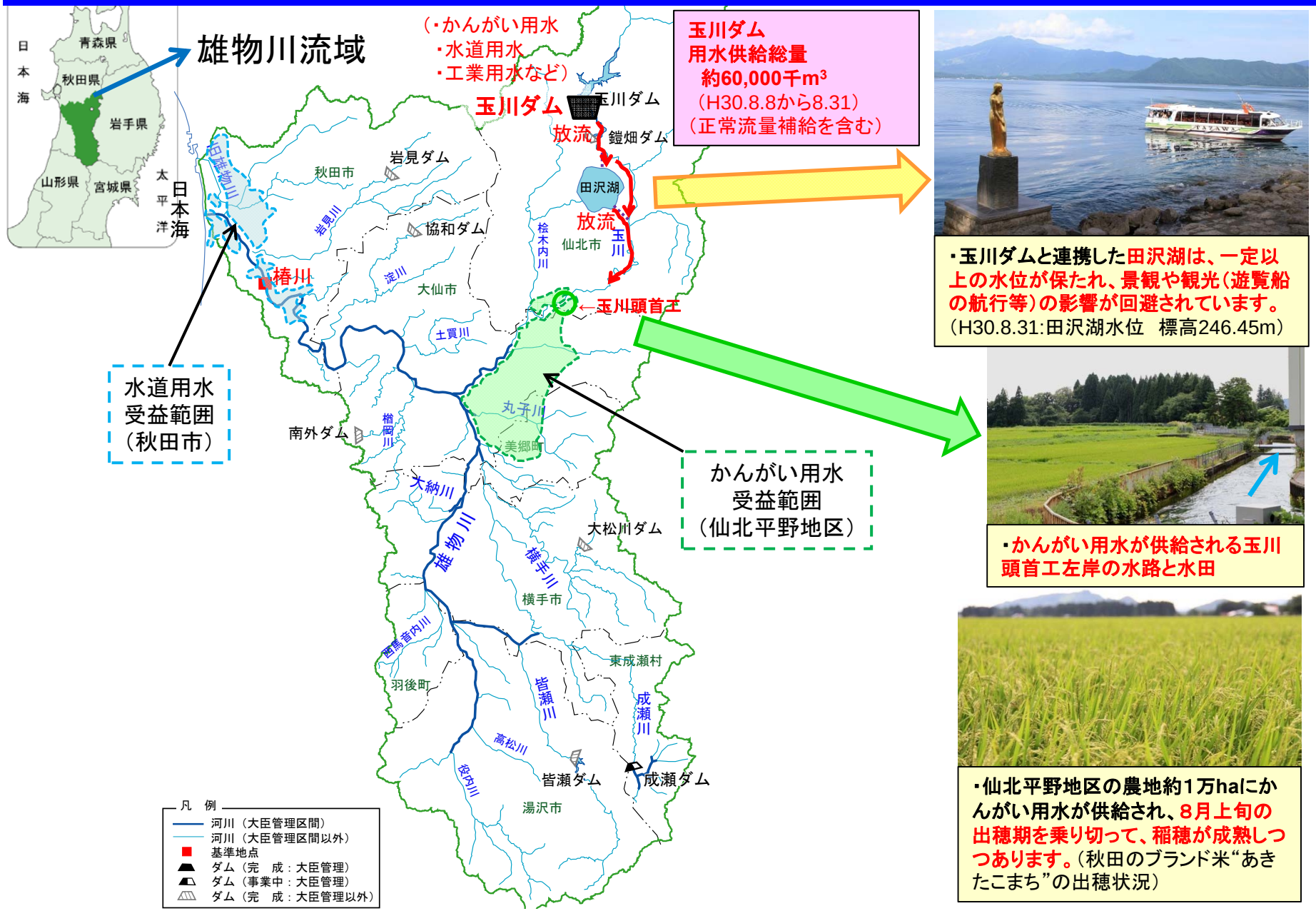


椿川地点付近





玉川ダムの用水補給効果：【生活や観光への影響回避】（H30.8月上旬から8月末まで）



玉川ダム
用水供給総量
約60,000千m³
（H30.8.8から8.31）
（正常流量補給を含む）

・玉川ダムと連携した田沢湖は、一定以上の水位が保たれ、景観や観光（遊覧船の航行等）の影響が回避されています。
（H30.8.31:田沢湖水位　標高246.45m）

・かんがい用水が供給される玉川頭首工左岸の水路と水田

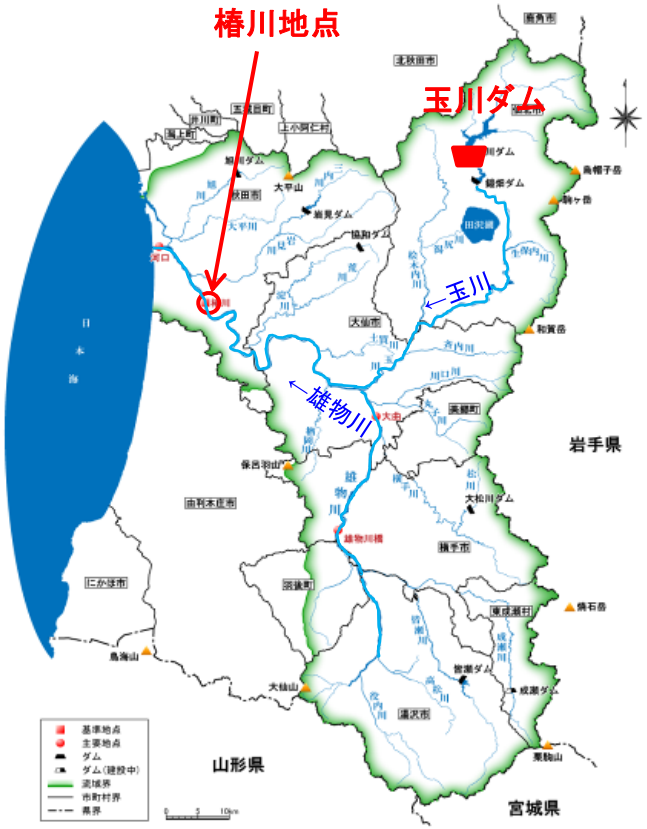
・仙北平野地区の農地約1万haにかんがい用水が供給され、8月上旬の出穂期を乗り切って、稲穂が成熟しつつあります。（秋田のブランド米“あきたこまち”の出穂状況）

玉川ダムを主とした玉川水系ダム群の正常流量補給効果
（H30.7月下旬から8月上旬まで）

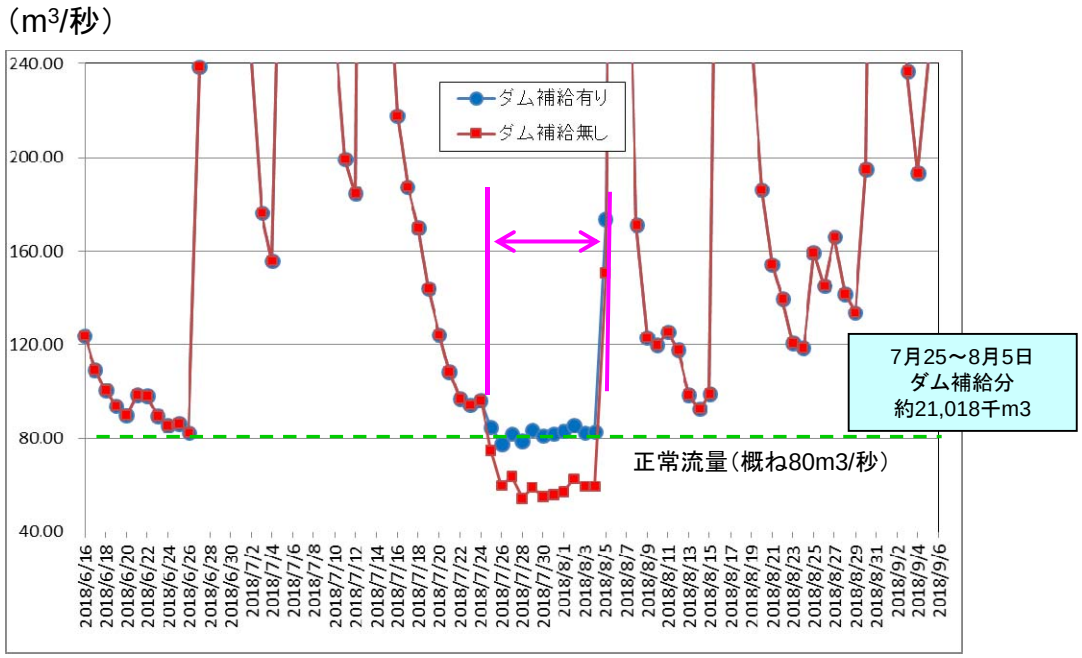
・玉川ダムを主とした玉川水系ダム群により、７月下旬から８月上旬まで、雄物川椿川地点への利水補給を実施し、正常流量の確保に努めています。（玉川ダムを主とした玉川水系ダム群：玉川ダム、鎧畑ダム、田沢湖、夏瀬ダム、神代ダム）

また、かんがい用水の下流河川への補給もあわせて実施しております。

・正常流量補給にかかる玉川ダム群からの補給量は、約21,018千m3、日数は１２日間となりました。



雄物川流域における
玉川ダムと椿川地点の位置図



雄物川椿川地点における流量の経時変化（日平均流量）

※ダム補給有り・無し等のグラフ数値は速報値ですので、精査により変わる可能性があります。

成瀬ダムが完成していた場合の効果予測（速報値）

・岩崎橋地点で水量が減少したことから、一部の土地改良区では番水による対策がとられました。
・近年では、平成６年、２４年、２７年など、３年に１度の頻度で渇水が発生しており、その度に番水制を余儀なくされてきました。
・今回の渇水においては、成瀬ダムがあった場合、ダムからの補給により十分な流量が確保されるため、１５日間実施された番水が解消されるほか、良好な河川環境が保たれたものと推測されます。

■成瀬頭首工

頭首工下流の状況

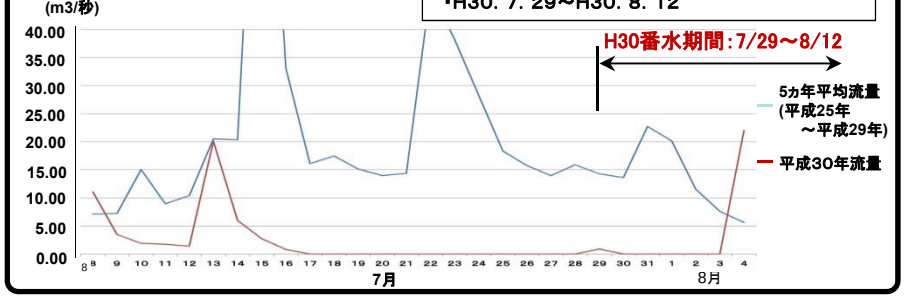


■岩崎橋地点

■実績流況図（m3/秒）

番水を15日間実施

○渇水対策支部設置
・H30. 8. 8～H30. 9. 6
○番水
（平鹿平野地区の成瀬頭首工掛かりの一部受益地）
・H30. 7. 29～H30. 8. 12



■新岩崎橋より上流

今回渇水時：0．01m3/秒　流下状況



成瀬ダムが完成していたならば・・・

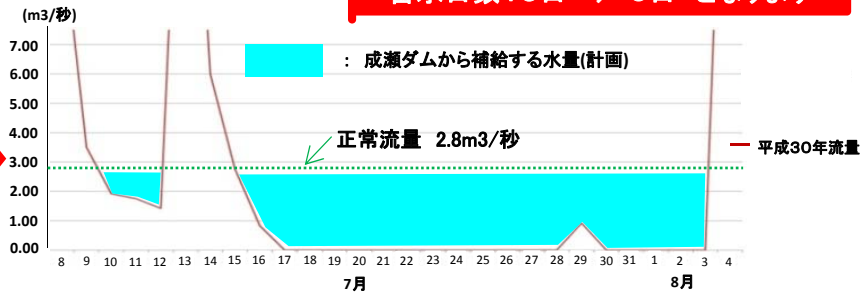
流況改善

■成瀬ダム完成イメージ図



■想定補給図（m3/秒）

番水日数15日　→　0日　となります



※正常流量とは、流水の清潔の保持、魚類が生息するために必要な水深を確保する流量で、適正な河川管理のために定めるものです。
岩崎橋地点における正常流量は2.8m3/秒としています。

成瀬ダム完成後：渇水時でも2．8m3/秒以上を確保し、流況が改善されます



※流量は暫定値であり、確定値ではありません。